宮古地協ニュース

№ 22　（第60号）
連合岩手宮古地域協議会
発刊・作成責任者　佐々木　正人
発刊日　2019年2月15日（金）

「2019新春旗開き会！」

連合岩手宮古地域協議会！

今年の活動「亥」の如く一致団結‼

⇧ 主催者代表で宮古地協花輪政文議長より挨拶！

⇒鏡開き　代表で右側から滝上青年委員長、八幡連合岩手会長、花輪議長、阿部社民党宮古総支部代表、田代労金宮古支店支店長、

⇐乾杯の音頭は中川全労済釜石支所長より声高らかに「乾杯！」

⇒懇談の様子　他業種の組合員と意見交換交わし、親睦を深めていた。

懇談の様子！

⇒春闘勝利！・来る参議院議員選挙連合推薦者勝利を目指し！＜団結してガンバロー！でこの会を締めくくった。

2019年1月23日（水） レストランほりた　18時～新春旗開きを開催！

54名（来賓者含む）の参加のもと、今年の連合の活動・地域の活動等課題解決へ向けて新たな一年となることを祈願し行われた。

2019春闘では「月例賃金と金額」にこだわり、地方統一選挙・参議院議員選挙「勝利！」の年に位置付け、親睦を深めた。

「愛のカンパ」旗開きにて青年委員会メンバー各テーブルを巡る‼

13，090円頂きました！

参加の皆さんありがとうございました‼

クラシノ
ソコアゲ
応援団！
RENGOキャンペーン
一人ひとりが主役です。

連合本部・復興調査で 1/29～30岩手県と宮古市訪問！

⇧ 岩手労働局長を中心に各課長との意見交換を行った。

2019年1月29日（火）連合本部から総合政策局経済政策局長はじめとして5名が本県に「東日本大震災復興状況実態調査」に来県。連合岩手からは佐藤事務局長、原副事務局長、佐々木宮古地協事務局長が対応、最初に**岩手労働局を訪問**し人口減少状態、雇用のミスマッチ、外国人技能実習生の受け入れ労働災害防止策、各医療・介護・福祉・保育人材の課題、自治体職員の今後の課題、人材不足職種を意識した職業紹介・訓練の状況などについて質問等を行った。

課題は需要と供給バランスが崩れ供給が少ない。主に岩手で働こう推進委員会を設置し各分野での労働力確保目指している等、色々な対策を講じている旨の説明がなされた。また、岩手においても海外人労働者は前年同期比510人増の4，509人となっている事、今後海外就労者の対応が課題となる等の報告があった。

⇧ 岩手県復興局・対応各課との意見交換！連合本部総合政策局経済政策局春田局長よりご挨拶！

1月29日午後から岩手県復興局を中心に、復興計画、個別事業の計画、などの進捗状況、中長期の展望と課題、三陸沿岸道路開通状況、六次産業化の状況、インバウンドを含めた観光の復興、漁業における水揚げ・水産加工業・製氷業・運送業等企業の状況、心的ストレスを抱える子ども・特別の配慮を必要とする子どもへの対応などを質問。

今後復興庁がなくなったときのそれに代わる一元的要請窓口の設置の必要性と風評被害が今後の大きな課題。

震災津波に起因する経済環境・住居環境等、児童生徒を取り巻く環境へと変わってきていることから、スクールカウンセラー配置に係る財政支援や教職員の加配処置の継続が必要などが離された。

⇧ 宮古市では、佐藤副市長が挨拶し、対応各課長との意見交換を行った。

1月30日午前に宮古市役所にて復興状況と課題・大規模土地利用型農業経営の状況と課題・小規模零細農家対策と農業振興策、農村集落コミュニティの現状・漁業における関連企業の状況・養護教諭の未配置校への配置および配置校への複数配置について・スクールカウンセラーおよびスクールソーシャルワーカーの常勤配置について・外国客船寄港状況、インバウンド観光における水産加工業、港湾等環境整備上の課題・地域資源の販路回復、開拓、拡大の状況・宮古産水産物加工人手対策、受注状況と消費動向等9項目を質問。

平成27年度までに造成工事を完了し移転者が生活再建を始めていることや大規模農業については現状は一農家当たり狭小でもあることから、難しい状況、農業振興などは「複合経営」や「農業担い手対策事業」・「経営再開マスタープラン」など支援体制を行っている、水産業は資源の減少など続いているが、食品製造業は震災前までの額に回復、養護教諭などについては、小学校2校について養護助教諭が配置、スクールカウンセラー小17校中3校・中11校中10校非常勤配置のない学校には、巡回型カウセラー2名で対応、スクールソーシャルワーカー配置は岩手県教育事務所の2名を派遣、インバウンドにも対応、地域資源販路など助成金などで対応、水産加工業などの人手不足が深刻などが挙げられた。

1月30日午後1時～田老漁協JFたろう加工場視察。

真崎わかめブランドを築き上げた矢先に東日本大震災津波で被害を受け震災後、復旧・復興を成しどげた田老漁協の塩蔵わかめ工場に足を運んだ、当日は鳥居高博工場長が対応、工場見学を行い、塩蔵わかめになるまでの工程を説明を受け、その後震災後～現在に至るまでの財務・営業・活動説明を聞き、現在の問題・今後の課題等で意見交換を交わした。

HACCP（ハサップ）要は管理体制の強化をしないと大手企業との取引ができない、しかしそれを築くためには多額の金額が毎年必要それをサポートする助成金体制などが必要、また人材不足が深刻となっている。 など課題は今後山積しているようだった。

鳥居工場長が対応してくれた。⇧

1月30日午後2時30分～宮古市社会福祉協議会訪問。

宮古市の福祉を担う社協さんとは震災当時のボランティア受け入れからのお付き合いもあり、復興に向けた地域づくり・生活復興支援センター等における被災者の生活状況に応じた支援内容・地域生活における課題や福祉関係の相談内容・生活困窮者自立支援制度に基づく任意事業の実施状況等について意見交換を行った。

相談室から見える復興の状況では、大震災から7年が経過した、復興関連事業の終了による失業・水産関係事業の不漁に伴う失業・災害公営住宅家賃等の滞納・災害公営住宅等での「8050」問題・不動産事情の変化等自立相談延べ件数は9，376件となっている。また、相談から見えることとして、経済的に困窮している世帯の子は、貧困となるリスクが高いなどが挙げられ、困窮対策の必要性が高いことなどが報告された。

それらの対応するうえで、有資格者が少なく人材確保も容易ではないこと、引きこもり者の社会復帰のための協力団体の拡充が必要不可欠であることも付け加えられた。

⇩ 宮古社協では、赤沼会長と有原担当副主幹が対応してくれました。

しおかぜキッチン！
皆で餅つき楽しく過ごす！

2019年1月19日（土）16時～20時頃まで、千徳公民館において「しおかぜキッチン」が行われた。
宮古市内のひとり親世帯・貧困世帯を中心にコミュニティーの場として毎月第3土曜日に開催されている。
今回は皆さんと昔からの伝統を取りいれ、餅つきを通じて、文化・食・協同と言った学びを含め交流が行われ、子どもたちが興味を持ってもらい、その中で共同作業しお互いがコミュニティーをとれるイベントとなった。

サポートしてくれる方は賛同してくれた地域の方がお手伝い。私を含め、県北地協事務局長の坂本さんが参加！この経験を県北地域で活かし地域貢献の足掛かりとしたい趣旨のもと、宮古まで足を運んでもらった。 釜石・遠野地協大槻さん参加を頂きました。
早速、杵を持ち、子どもが餅つきできるところまでを段取り！今回男手が足りなく、県北地協坂本さんと宮古地協佐々木、2人で2升を3回（全部で6升）、子どもたちが餅つきできるところまでを担った！体力勝負!! (^_^;)

でも子供たちが餅つきを楽しんでいる姿を見れば疲れは吹っ飛びます。!(^^)!

⇧ 地域の方がこぞって食事の準備、そして18時から食事会でも盛り付けのお手伝い。

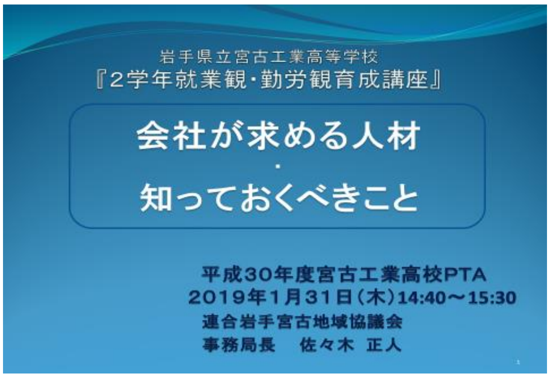
⇐ 今日の餅つきの成果が夕食へ上がる！
クルミ・ゴマはすり鉢で擦りました！子どもたちが率先して擦ってくれました。
全部てづくり！ 具だくさん汁、かぼちゃのおしるこ、アクセントに粒あん！どれも絶品でした(^◇^)
レシピ貰って宮古地協にあります。是非お試しあれ！

※お餅、おかわり続出(^◇^)！正月気分味わえたかな⁉

次回は、東北電労宮古支部さんで、ご協力を頂き工作を実施する予定 (^◇^)
2019年2月16日（土） 16時から千徳公民館にて行われる。
将来に夢が叶えられるよう、地域で見守りながら相互互助により、成長していけるよう協力をしていきましょう !(^^)!

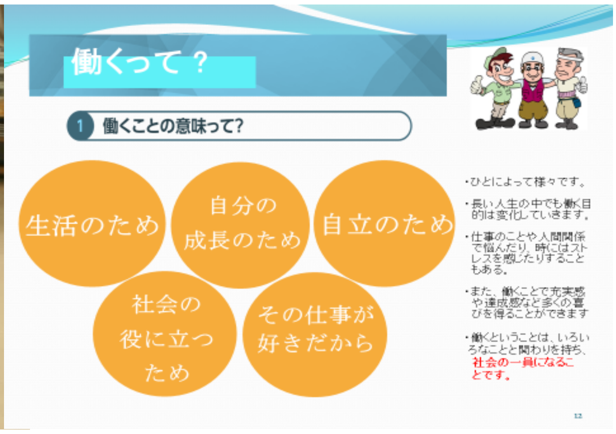
⇩ 子ども達にせがまれ、馬となりました。(^_^;)

職業観・勤労観養成講座「宮古工業高校2年生」へ
連合の立場から「何のため働く？働くためには！」講演



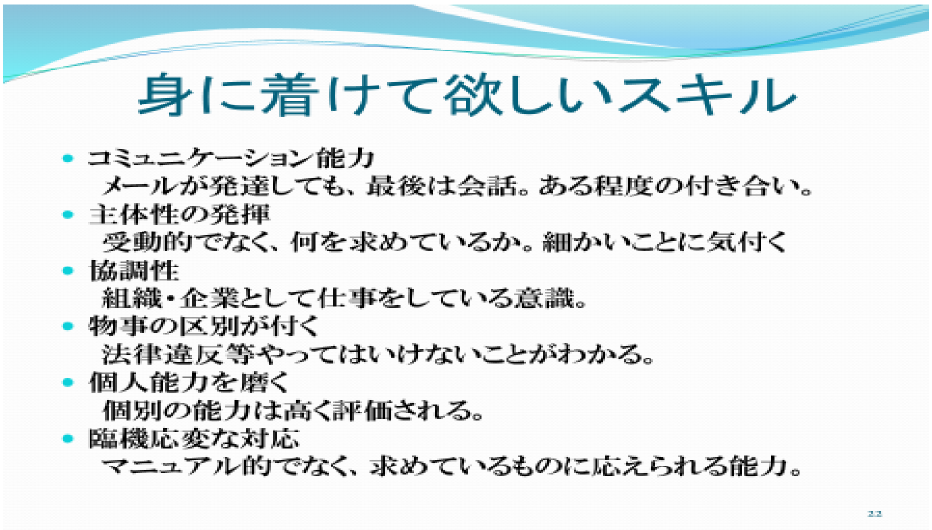
2019年1月31日(木) 岩手県立宮古工業高校2年生62名と保護者に、会社が求める人材・知っておくべきことと題して、連合の立場から講演を行った。

今回で4回目を迎えた講演では、多様な働き方はあるにしても、現状の働き方分類等、ここ最近で新たな区分を説明を交えまた、質問を投げかけて生徒さんから意見を聴くなどし、4月から3年生となり、就職・進学等進路を「否が応でも」決めていかなければならいことの重要性と責任の重み、最終的には、「自分が納得して決めること！」としながら45分間の講演とした。



⇧ 工業高校2年生徒、講演を聞いている様子

⇩ 連合宮古地協事務局長佐々木が講演！



私からは！
1.　**経済状況について**（経済とは？）
2.　**雇用状況について**（新卒者（31年3月卒者）全国・岩手県・宮古管内）就職後3年間では40％越えの離職率（1年目で15～19％）
3.　**働くとは？**（働く理由・初任給の推移（全国・岩手県各学歴）宮古管内の状況・働かなっかったら・働くためには？・必要なスキルなど）
4.　**覚えておいて！**（ホウ・レン・ソウ、分からなかったらその場で聞く！労働契約について、給与明細書について、求人票について、退職ルールについて、労働相談事例含めた説明）
5.　**関係資料の説明**

就職・進学等する生徒さん皆さんが労働するということをしっかりと覚えるための最低限のルールが存在することを忘れないでほしいものです。

宮古管内では新規高卒者31年3月卒の就職希望者数192名中、
県外71名（40%）
県内41名（18．3%）
宮古管内80名（41．7%）
宮古管内就職は震災後、微増減